

**図画工作・美術**

**言語活動を効果的に位置付けるための活用シート**

教科の目標		言語活動の指導のポイント
小学校	表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 表現では、発想や構想の能力、創造的な技能を高めるために、材料や場所の特徴、表したいことや用途などについて、考えたことを伝え合ったり、形や色、材料の感じなどを生かして表現したりするなどの学習活動を工夫する。</li> <li>◆ 鑑賞では、身近にある作品や親しみのある作品などのよさや美しさなどを感じ取る能力を高めるために、感じたことや思ったことを話したり、友人と語り合ったりするなどの学習活動を工夫する。</li> </ul>
中学校	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 表現では、発想や構想の能力を高めるために、アイデアスケッチで構想を練ったり、言葉で考えを整理したりするなどの学習活動を工夫する。</li> <li>◇ 鑑賞では、鑑賞の能力を高めるために、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、対象の見方や感じ方を広げるなどの学習活動を工夫する。</li> </ul>

言語活動としての要素		
要素Ⅰ 自己の思考		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の課題に対して自分の考えをもつ。</li> <li>○ 自分の考えをどのように表現するか考える。</li> </ul>		
<b>具体的な内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共通事項の視点を押さえて表現の構想を練る。</li> <li>○ 身の回りの造形や美術作品のよさや美しさなどを感じ取ったことを書く。</li> </ul>	<b>指導の工夫(例)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 表現では、形、色彩、光の効果、目的、機能など考える視点を明確にし、作品のイメージをもたせ、各自のデザインの意図や表現の工夫についてワークシートに書かせる。</li> <li>◇ 鑑賞では、対象のよさや美しさ、作者の表現意図や工夫を感じ取らせ、考えさせ、味わわせるために、造形に関する言葉を豊かにし、言葉で表現させる。</li> </ul>	
要素Ⅱ 伝え合い		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他者との伝え合いを通して、多様なものの見方・考え方に触れる。</li> </ul>		
<b>具体的な内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自ら発想したデザインについてグループ等で意見交換をする。</li> <li>○ 表現方法や制作の順序等について話し合う。</li> </ul>	<b>指導の工夫(例)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 各自のデザインについて、作成した意図や表現の工夫についてグループ内で説明させる。</li> <li>◇ デザインしたスケッチを見せ合うことができるように、説明を書かせる。</li> <li>◇ 作者が考えた目的・機能など意図を踏まえてアドバイスをを行う。</li> </ul>	
要素Ⅲ 思考のまとめ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他者との伝え合いを通して、再び自分の考えを深める。</li> <li>○ 自分の考えを自分の言葉で、他者によりよく表現する。</li> </ul>		
<b>具体的な内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他者の意見を聞いて、新たな視点やアイデアを取り入れ、自分の表現の構成を練り直す。</li> </ul>	<b>指導の工夫(例)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自分の作品について思いや願い、工夫したこと等を作品カードに書かせる。</li> <li>◇ 他者との意見交換を通して、自分が得た情報を精査してデザインの構想を練り直し、スケッチさせる。</li> </ul>	

言語活動を支える基盤	
基本的事項の理解	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容の基本的事項を理解する。</li> <li>○ 各教科等に必要用語や記号及び表現を理解する。</li> </ul>	
<b>具体的な内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 形や色彩、材料、光など、性質や、それらがもたらす感情を理解する。</li> <li>○ 形や色彩、材料、光の効果等表現方法や、工具等の使い方を理解する。</li> </ul>	
学習情報の獲得	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験などを含めた広い意味での「教材」から情報を得る。</li> </ul>	
<b>具体的な内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書、ノート、資料等から既習事項を確認する。</li> <li>○ 具体物から形や色彩の特徴などを基に対象のイメージを捉える。</li> <li>○ 鑑賞を通して、色彩、形、バランスなどに関する情報を得る。</li> </ul>	